

第九回 衆議院日本勸業銀行法案委員會速記録

(第六號)

(七六)

明治二十九年三月五日午前十一時二十三分開議

○委員長(石田貫之助君) 是ヨリ第七回ノ會議ヲ開キマス、ソレデ本日ハ勸業銀行法案ノ即チ逐條議ニ掛ル積リデアリマス、ソレデハ各條ニ就イテ審議表決スル都合ニ致シマス、即チ先ヅ第一條

○(河島醇君) 唯今御宣告ニナリマシタ逐條審議ニ掛ルコトニナリマスレバ、一寸申シテ置キマス、先日御内議ノ結果トシテ、即チ昨日中ヲ期シテ修正案ヲ提出スルト云フコトデ、本員ハ修正案ヲ提出シタガ、印刷ノ都合ニ依ツテソレガ廻ハラヌデアリマスガ、直チニ掛ラヌデ……

○委員長(石田貫之助君) 併シドウデゴザイマセウ、廻ツテ居レバ便利デアリマスガ、餘リソレガタメニ此會議ヲ延ベルト云フコトモ困リマスカラ、其内上ツテ來マセウカラ、先ヅ修正ノ廉ヲ第一條ニ就イテ御述ベ下サイ

○(河島醇君) 隨分長ウゴザイマスカラ、吾々が出シタノハ皆さんガ御覽下サラヌデハ、少シ御分リガドウデアラウカト思フ

○委員長(石田貫之助君) 先ヅ御述下スツタラドウデセウ

○(河島醇君) 本員ガ出シタノハ第二章カラデ……

○委員長(石田貫之助君) ソレデハ第一章カラ差支ガナケレバ議シマセウ

○(名倉次君) 第一條ニ就イテ私ノ意見ヲ述ベマセウ、私ハ改良ト云フ字ヲ削リタイ、改良ト云フコトハ發達ト云フコトノ下ニ居ルモノデ、發達ト云フ總名稱ガアレバ、別ニ改良ト云フコトヲ置ク必要ハナイト思フ、夫故ニ改良ト云フ二字ヲ削ツタ方ガ宜カラウト思フ

〔原案賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(石田貫之助君) 名倉君ノ御説ハ贊成者ガナイヤウデアリマスカラ、第一條ハ原案ニ決シマス、次ニ第二條

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○委員長(石田貫之助君) 第二條ハ異議ガゴザイマセウカラ原案ニ決シマス、第三條——第三條モ異議ガアリマセウカラ原案ニ決シマス、次ハ第四條

○(河島醇君) 本員ハ強イテ主張ハ致シマセウガ、此百箇年間ヲ、五十箇年間ト修正シタ方ガ穩當ト思フ、百箇年間ハ即チ法律其モノ、一期デアル、百箇年ト云フ年限ヲ置ク餘リ必要ハナイヤウニ思フ、ソレデ其制限ノ年限ハ、矢張農工銀行ト同ジク五十箇年ト致シタイ

○(小坂善之助君) 修正案ニ依ッテ見ルニ、第十四條ノ内ノ五十箇年ヲ三十箇年ニ改メルト云フ、此箇條デハナイガ、關聯シテ居リマス、過日質問ヲシタトキニ、政府委員ハ貸附年限ヲ五十箇年ニスルカラ百箇年ニスルト云フコトデアリマシタ、ソレデ修正案ノ成立ツヤ否ハ分リマセウガ、均シク農工銀行ノ如ク、三十箇年ノ貸付ヲナスモノトスレバ、同様五十箇年ニ修正シタ方

ガ穩カデアラウト思フ強イテハ主張致シマセウガ

○(工藤行幹君) 贊成、餘リ長イ、後トノ所ガ三十箇年ニナリマスレバ……

○(河野岩吉君) 河島君ノ説ニ贊成

○委員長(石田貫之助君) 河島君ノ百箇年ヲ五十箇年ニ改メル、之ニ贊成ノ御方ハ舉手

舉手者 五名

○委員長(石田貫之助君) 五人デアリマス、原案ニ贊成ノ諸君ハ舉手

○委員長(石田貫之助君) 多數デアリマス、原案ニ決シマス

○(河島醇君) 此第二章ニ就キマシテハ、今茲ニ提出致シタヤウニ修正ガゴザイマスガ、是ハ全部ニ就イテゴザイマスカラ、一應第二章ヲ斯ノ如ク修正致シタ理由ヲ説明致シタラバドウデアセウカ、御許シデアラナラバサウ致シマス

○委員長(石田貫之助君) 宜ウゴザイマス

○(河島醇君) 本員ガ第二章ノ重役——此部ヲ修正セントスル意見ハ、ドウ云フ要旨デアルカ、其立案ノ趣意ヲ一應諸君ニ申上ゲテ置カウト思ヒマス、元來政府ノ立案ト云フモノハ、現行法律即チ商法ノ規定ニ依ルコト少ナウシテ、特殊ノ條例ヲ設ケタモノト思フ、其特殊ノ條例ト云フノハ稍々日本銀行ノ條例ニ準據致シタ如ク致シテ、日本銀行ノ條例ヨリカ却テ專制的ニナツテ居ル、其專制的ト云フノハ何デアルカト云フト、銀行總裁ト云フモノニ無上

ナ權利ヲ與ヘテ、我帝國現行ノ商法上ニ於ケル所ノ數名ノ取締役連帶ノ責任ヲシテ、總裁一人ニ責任ヲ歸シタイト云フノガ、即チ政府案——此原案ノ趣意デアルノデアル、御承知ノ如ク此會社ト云フモノハ、丁度現行ノ商法ニモ

ゴザイマスヤウニ、是ハ共同體ナモノデゴザイマスガ故ニ、固ヨリ取締ト云フモノガ、是ガ會社ノ重役中トノ要素デゴザイマスカラ、是ハ連帶ノ責任ヲ有ツト云フ所ノ規定ガ一般ニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ先日以來本

員等ガ質問致シタ上ニ就イテ政府委員ノ答辯ヲ聽テ見ルト、此銀行ハ特殊ノ銀行デアルガ故ニ、最モ總裁ニ機敏ナ働キヲサセタイ、故ニ總裁一人ニ、普通

通商法上ニ依ツテ見レバ取締役全部ガ連帶シテ持ツベキ責任ヲ、其一人ニ擔ハセタト云フノガ立案ノ趣意デアル、其一人ニ擔ハスル所ノ趣意ハ何デア

カト云フト、機敏ナ仕事ヲサセナケレバナラナイ、機敏ナ仕事ヲサセレバ、最モ責任ガ重イト云フニ外ナラナイ、所ガ、本員ガ是ニ修正ヲ必要トシ、其

政府ノ原案ニ反對スルノ意見ヲ有スルハ何ンデアルカト云ヘバ、普通ノ會社ハ無論商法ノ規定ニ依ラナクテハナラナイ、是ハ普通ノ會社組織デアルケレ

ドモ、目的トスル事業ガ將來我帝國ノ農工業ノ進歩發達ヲ圖ルト云フノガ目

的トスル事業ガ將來我帝國ノ農工業ノ進歩發達ヲ圖ルト云フノガ目

的トスル事業ガ將來我帝國ノ農工業ノ進歩發達ヲ圖ルト云フノガ目

的トスル事業ガ將來我帝國ノ農工業ノ進歩發達ヲ圖ルト云フノガ目

的デアツテ、唯斯ノ如キ銀行ハ營利的仕事ヲシテ銀行ノ利益ヲ得ヤウト云フ
 ノデハナイ、即チ農工業ノ進歩發達ヲ圖ルガためニ、此銀行ヲシテ確實鞏固
 ナル所ノ業務ヲ營マセタイト云フノガ即チ此本旨デアアル、今此銀行ヲシテ確
 實鞏固ナル所ノ營業ヲ爲サシメタイト云フ本旨ニ基イテ見レバ、無論現行ノ
 我帝國商法ノ規定ニ準據スルト云フノガ、事體ニ於テ最モ必要デアリ、又サ
 ウナクテハナラヌト思フ、商法ノ規定外ノコトニ依ツテ、一人ニ其責任ヲ有
 タシメヤウト云フノハ、如何ニモ或ル場合ニハ機敏ヲ要スルカモ知レナイ
 ケレドモ、此銀行ノ特色——所謂國家的機關ト致シテ設立セラル、モノ、上
 ニ就イテ考ヘテ見マスレバ、其特權ト特別ノ保護ニ對スル方法ノ上ニ於テハ、
 最モ確實鞏固ヲ期シナケレバナラナイガ故ニ、一人ニ機敏ノ仕事ヲ專任スル
 ガ如キコトハ大ニ是ハ考フベキコトデアツテ、其立案ノ當ヲ得テ居ルモノト
 ハ考ヘヌデアリマス、故ニ本員ハ之ヲ我現行商法ノ規定ニ準據致シテ、矢
 張其取締役ノ中ヨリ致シテ、主務大臣ハ總裁、及副總裁ヲ任命スル、而シテ
 總裁、及副總裁ハ自ラ其定款ニ依ツテ、普通ノ取締ヨリモ常務ヲ處理スル上
 ニ就イテハ是ミノ責任ヲ持ツ、是ミノ職權ヲ與ヘルト云フ所ノ規定ヲ爲スガ
 必要デアアル、併シ法律ニ對スル所ノ效力其他ニ對シテハ、矢張帝國商法ノ規
 定ノ如クニ、取締役ト云フモノヲ以テ連帶ノ責任ニナラシメタイト云フノガ、
 此案ヲ修正セントスル所ノ骨子デゴザイマス、而シテ今問題ニナツテ居リマ
 ス所ノ此第五條デゴザイマスルガ、即チ本員ガ此五條ノ「日本勸業銀行ニ總
 裁副總裁各一人理事監査役各三人以上ヲ置ク」ト云フ箇條ニ對シテ、之ヲ修
 正セントスル所ノ法文ハ「第五條日本勸業銀行ニ總裁副總裁各壹名取締役監
 査役各若干名ヲ置ク」ス様ニ五條ノ法文ヲ修正致シタイト云フ積リデアリマ
 ス、外ノ逐條ニ至リマシテハ六條カラ、是ハ本案ハ八條ニナツテ居リマス
 レドモ、本員ガ提出ヲ致シテ所ノ此第二章全部ニ對スルノハ、五條ヨリ九條
 ニナツテ居リマス、其逐條ハ後ニナツテ述マセウト思ヒマス

○(立石岐君) 私モ此場合ニ、五條ノ修正ヲ致シタイ、五條ノ「總裁副總裁
 各一人」トアル處ヘ持つテ來マシテ「評議員五人」ト云フ此五字ヲ加ヘタイ、
 之ヲ加ヘマス理由ハ今河島君ノ御述ニナリマシタ理由ト同シ理由デアリマ
 ス、唯茲ニ河島君ノ案ニハ十名トアリマス、私ノ方ノハ五名ト云フ人員ニ差
 ガアルマデノコトデゴザイマス、別段委シク其理由ハ述ズトモ御分リニナル
 デアラウト思フ、デ、尙此評議員ヲ置キマスニ就キマシテハ、其職務ニ關スル
 コト、責任ニ關スルコトハ、次ノ條ニ於テ修正ヲ加ヘルト云フデアリマス
 ○(豐田文三郎君) 一寸河島君ニ伺ヒマスガ、唯今御修正ノ方ハ七條デスカ
 ○(藤行幹君) 一寸承リマスガ、大抵河島君ノ修正ト文字ノ違ヒガアル位
 ノコトデアリマスガ、此評議員ト云フ者ハ、其權限等ハ河島君ノ云ハル、通
 リ、商法ヲ定ツテ居ル如キ責任ヲ持ツ者デアリマス、而シテ商法ニハ取締役
 トアル様デアリマスガ、殊ニ評議員ト名ヲ付ケタノハ、ドウ云フ御趣意デア

リマスカ、一寸承リタイノデス
 ○(立石岐君) 是ハ河島君ノ御述ニナリマシタ通り、此評議員ヲシテ重役
 會議ニ出席セシメ、サウシテ此重要ナ件ヲ評議シテ、此重要ナル事件ヲシテ、
 唯總裁ノ專斷ニ任セナイト云フタメニ設ケタノデアリマス
 ○(河島醇君) 今立石君ヨリ修正案ノ御意思ヲ承ツテ見マスルト、本員ノ修正
 ト本旨ハ同ジニナルト考ヘマス、就キマシテハ今問題トナツテ居ルノハ第五
 條一條デゴザイマスルガ、此五條ハ後ノ處マデズト關聯致シテ居リマ
 スカラ——全部ニ就イテ關聯致シテ居リマスカラ、一寸本員ハ許シテ受ケテ、
 一條ヲ此所ニ置イタ所以ヲ——修正ヲ加フル必要アル所以ヲ一寸述ベテ置キ
 タイト思ヒマス、本員ガ唯今述ベマシタ如ク、第五條ニ修正ヲ加ヘタイト云フ
 趣意ハ、固ヨリ第六條ヨリ八條マデ關聯致シテ居リマスカラ、其理由ヲ申上ゲ
 テ置キマス、此原案ニ對シテハ、本員ハ六條、七條、八條、此三條ヲ修正シ
 タイト云フ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレハ丁度立石君ノ今言ハル、
 ヤウニ、御提出ニナツタ御意見ト意思ハ同様デゴザイマスガ、此評議員ヲ置
 クト云フコトデアリマス、此評議員ト云フ者ガ今ノ銀行條例カラ申シテ見
 レバ、取締役ヲ選舉致シテ、其取締役ノ中ヨリ互選シテ專務取締ヲ置クト云
 フコトニ書イテアル、其專務取締役ヲシテ、即チ頭取トスルト云フコトニナ
 ツテ居ル、他ノ取締役モ勿論、銀行ニ對シテ責任ガアルガ、其銀行ノ事務上
 ニドレ丈ノ關係ヲ持ツカト申シテ見レバ、取直サズ評議員デアリマス、專
 務取締役ノ他ノ取締ハ、即チ評議員デアリマス、私ガ此所ニ提出シタ案ノ意
 見モサウナツテ居ルノデ、修正ノ趣意モ斯ノ如クナツテ居ル、故ニ本員ハ此
 六條ニ於テ、取締役十名以上ヲ置クト云フ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、而
 シテ其十名以上ノ取締役ノ中ヨリ、取締役中ニ於テ互選ヲ致シテ、若干ノ專
 務取締役ト云フ者ヲ選舉シテ、其若干ノ專務取締役ノ中ヨリ致シテ、主務大
 臣ハ總裁ト副總裁ヲ任命致シ、又或ハ其中ノ一名、若クハ二名ノ專務取締役
 ヲ任務ニ充テル、ソレハ何ヲ司ルカト云フト、即チ銀行ノ常務ヲ取扱フ、本
 案ニ於ケル理事ノ職掌ヲサセテモ宜イノデ、サウシテ見レハ專務取締役ノ中
 ノ總裁、副總裁以外ノ者ハ何ニ從事スルカ、ドンナ仕事ヲスルカト云フト、
 即チ常務ニ當タル、常務ハ總裁ノ命ヲ受ケテ、銀行條例ノ常務ニ從事スル者デ
 アル、其權利責任ハ何カト云フト、取締役トシテ重要ノ事件ヲ議スル時ニ、
 已レノ本職ヲ以テヤラナケレバナラヌ事務員デアツテ、取締役ノ責任ヲ持ツ
 テヤラナケレバナラヌ事務上ニ於テハ總裁ノ命ヲ受ケテ從事スル、此等ハ無
 論定款ノ上デ其規定ヲナスデアラウト思ヒマスガ、斯ノ如ク致シテ往ツタナ
 ラバ、其專務取締役ノ以外ノ若干名ハ、自ラ立石君ノ今御述ニナツタヤウナ、
 評議員ノ性質ヲ持ツテ商議ノ集會ニ列シテ商議ニ與カル、即チ商議官デア
 ルト云フコトニナルト思ヒマス、矢張意見デアリマス、故ニ第六條以下斯ノ如ク
 修正致シタイ

第六條 取締役ハ十名以上トシ其任期ヲ三箇年トシ株主總會ニ於テ五十株

第六條 取締役ハ十名以上トシ其任期ヲ三箇年トシ株主總會ニ於テ五十株

第六條 取締役ハ十名以上トシ其任期ヲ三箇年トシ株主總會ニ於テ五十株

第六條 取締役ハ十名以上トシ其任期ヲ三箇年トシ株主總會ニ於テ五十株

第六條 取締役ハ十名以上トシ其任期ヲ三箇年トシ株主總會ニ於テ五十株

以上ヲ所有スル株主中ヨリ之ヲ選舉シ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ其滿期ニ當リ再選セラル、者モ亦同

第七條 取締役ニ於テ更ニ若干名ノ專務取締役ヲ互選シ其專務取締役中ヨリ主務大臣ハ總裁及副總裁ヲ任命スルコトヲ得

第八條 監査役ハ三名以上トシ其任期ヲ二箇年トシ株主總會ニ於テ三十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ之ヲ選舉シ其滿期ニ當リ再選セラ、者モ亦同

上ノカテ第九條デアリマスガ、此九條ハ、即チ一部ハ本案ノ第八條ニ規定シタ所ノモノニ基キ、一部ハ正金銀行ノ條例ニ基キ即チ「總裁副總裁監査役ノ職權ハ定款ニ於テ定ムヘシ」ト云フ正金銀行條例ニ基イテ斯ノ如ク修正ヲ致シ

タノデアリマス、此第二章ノ修正ノ精神上カラ言ヘバ、即チ立石君ノ御修正ト略シ同ジコトニナルト思ヒマス、唯選舉權、任命權、其邊マデ斯ノ如ク規定シタト云フニ過ギヌト思ヒマスカラ、願クハ御協議ヲシテ本案ノ修正ヲ致シ

タイト云フ意見デアリマス

○(立石岐君) 唯今河島君ノ詳細ナル御説明ニ依リマシテ、一部ニ於キマシテハ私ノ意見ト變リマセヌコトヲ承知致シマシタ、尙協議ノ上デ此修正ヲ成

立シタイト云フ御希望モゴザイマシタカラ、追ツテ協議ヲ致シマシタナラバ、或ハ一樣ノコトニナルカ知レマセヌガ、併シ河島君ノ御説デアリマスレバ、

取締ト云フモノヲ置キマシテ、其中デ專務取締若若干置イテ、ツレニ矢張常務ヲ執ラセルト云フコトデアリマスルガ、私共ノ意見ハ其點ニ於テハ大ニ

違フノデアリマス、專務取締トカ、頭取トカ云フヤウナモノハ即チ總裁、副總裁ヲ以テ充シテアル、又普通銀行ノ支配人トカ云フヤウナモノハ、理事ヲ

以テ充テ、アルヤウニ考ヘラレル、最早常務ヲ執ル所ノモノハ必要ハナイト考ヘルノデアアル、唯即チ立法部トモ云フベキ評議員ヲ設ケテ此重要ナ事件ヲ

議決スルニ當ツテ、其會議ニ出席スルコトヲ以テ職務トスルト云フ意見ナノデゴザイマス、是丈ガ河島君ノト相違ガアルノデゴザイマス

○(河島醇君) 一寸質問シマスガ、サウスルト理事ハ全ク普通ノ會社法ニ依ツテ之ヲ支配人ト見ルノデアリマスカ

○(立石岐君) サウ私ハ見テ居リマス

○(河野岩吉君) 河島君ニ質問ヲ致シトウゴザイマスガ、此第九條ニ取締役、監査役ノ職權ナリ責任ト云フモノハ定款ヲ以テ定ムルト云フコトガ茲ニ規定

シテアリマス、此取締役ナリ監査役ノ責任ナド、云フモノハ、既ニ商法ノ上ニ於テ明カニ規定ガシテアル、ツレデ是等ノコトハ此商法ニ拘ラズ特別ニ此

勸業銀行丈ハサセル、斯ウ云フ御考ナノデスカ、元來此元ガ株式會社ト云フモノカラ成立ツノデアリマス、サウスルト彼ノ會社法ニ依ツテ株主會社ノ規定

ニ準據スルガ當然デアアル、サウナツテ來テ茲ニ大切ナル責任ナド、云フコトニ就イテ其定款ニ讓ル、斯ウナリマスルト餘程重大ナ關係ガアラウト思ハレ

ルノデアリマスガ、其邊ノ御考ハドウデアリマスカ、之ガ一ツ伺ヒタウゴザイマス、ソレヲ總裁、副總裁、專務取締役斯ウアリマシテ、普通ノ取締役ダ

ケハ茲ニ此第九條ノ二項デ省イデアリマスル、ソレカラ第五條ニ於テ總裁、副總裁ハ一人宛置クト云フコトガ五條ニ明カニ定メテアル、サウシテ總裁、副總裁ノ撰任方ト云フモノガ、此七條ニ於テ主務大臣ガ此專務取締役中カラ任命

スルコトガ得ラレルト云フコトニナツテ居リマス、抑、得ラレルナドト云フモノハ、本體ガアツテサウシテ其又他ニ斯様ナ便法ガアルト云フ時分ニ隨分

定メルコトデアラウト思ハレル、所ガ、此七條ニ於テハ總裁、副總裁ヲ任命スルコトガ得ラレルト云フヤウナ譯デアルト、本體ノ任命方ハ——撰任方ハ

ドウ云フ風ナモノニナル譯デアリマスカ

○(河島醇君) ツレデモ宜シウゴザイマスカ

○(河野岩吉君) ツレカラ尙モウ少シ申述ベマスルガ、九條ノ責任デアリマス、責任ト云フコトハ是ハ餘程社會ニ對シテ隨分關係ノ厚イコトデアラウト

思ハレル、此株式會社ノ取締役ハ自己ノ責任ヲ負フコトガ、澤山ゴザイマス、商法ノ規定ニツレテ定款ニ於テ定メルト云フコトニナリマスルト、隨分此事

ハ重大ナ關係ヲ持ツコトデアラウト思ヒマス、ツレデ其邊ニ就イテ一應御考ヲ伺ヒタウゴザイマス

○(河島醇君) 委シク御答ヲ致シマス、第九條ノ總裁、副總裁、取締役及監査役ノ職權及責任ヲ定款ヲ以テ定ムベシト云フノガ、之ニ對スル御質問

ノ始メデアツタト思ヒマス、之ニ對スル答辯ハ總裁、副總裁ト云フモノハ現行ノ商法ニ規定ガナイ專務取締役ヲ互選シ、之ヲ以テ頭取トスルト云フコト

ガアルケレドモ、總裁、副總裁ハ決シテナイ、是ハ現行ノ帝國商法ニ準據シテ書イタ所ノ立案デアアルケレドモ、右ノヤウナ役人ノ名稱ガナイ、故ニ茲ニ特ニ

斯様ナモノヲ定メタノデアリマス、而シテ取締役ト致シ監督役ト致シタ所ノ職責ト云フモノハ、商法ノ規定デ明カデアアル、ツレハ十分デアアル、併ナガラ

此總裁、副總裁ハ銀行ノ事務ニ於テドレ丈ノ權限ヲ以テドレ丈ノ仕事ヲスルモノデアアル、又是ハ株主ニ對シテドレ丈ノ關係ヲ持ツモノデアアル、取締ハツ

レニ就イテ銀行部内ニドレ丈ノ職權ガアルデ、ドレ丈ノ常務ヲ執ルモノデアアルカ、ドレ丈ノ事務ニ當ルモノデアアルカ、監査役ハ普通ノモノデアアル、ドウ

カ其邊ノ所ハ定款ヲ以テ定メルト云フノハ、決シテ商法以外ノ責任ヲ定款ヲ以テ定メルノデアハナイ、商法ニ規定シテアルモノハ無論ツレニ準據スルノハ、

相當ナコトデアアルケレドモ、銀行ノ事務上、其銀行ノ業務ヲ整理スル上ニ就イテ自ラ習慣ノ異ナル所ガアルガ故ニ、其詳細ナル所ノ職權及其職權ニ對

スル所ノ責任ハ定款ヲ以テ定ムルト云フコトニシタ、是ハ何ニ據ツタカト云ヘバ、現行ノ橫濱正金銀行ノ條例ノ中ノ明文ト考ヘル、サウ御承知ヲ願ヒマ

ス、ツレカラ此二項ノ「總裁及副總裁專務取締役及監査役ハ在任中他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ許サス」ト云フ法條ハ日本銀行條例、若クハ定款ト

此提出ニナツテ居ル所ノ本案ノ第八條ニ依ツタモノデアリマス、之ニ疑ノ點ハ專務取締ト云フモノガアツテ、何ゼ普通ノ取締ヲ置カナカツタ、本員ガ此專務取締役ト云フモノヲ特ニ規定シタコトハ外デアハナイ、ツレハ此十名以

上ノ中ヨリ若干名ヲ互選シ、其互選致シタモノ、中デ總裁、副總裁ハ大藏大臣ガ、即チ主務大臣ガ任命シテ其職務ヲサセ、殘ノ若干名ノ人ハ即チ茲ニ規定シテアル理事ト同シヤウナ常務ヲ執ラセ、併シ其職務ハ固ヨリ違ヒマスケレドモ、是ハ銀行ノ事務ノ仕事ヲサセヤウト云フ考案デアル、此監査役ハ特ニ茲ニ置カズトモ、是ハ商法ニ規定ガアルカラ、サウ云フ責任ノアル人々ハ在任ノ中ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ許サズ、決シテ外ノ職務ヤ營業ヲスルコトヲ許サズト規定シタ、此文面ハ多ク原案ニ依ツテゴザイマスガ、ソレヲ日本銀行ノ條例ニ比較シテ見ルト、餘程此原案ハ酷ナヤウデアル、其酷ナル所以ハナンデアルカト云ヘバ、第八條ハ總裁、副總裁及理事ハ在任中何等ノ名稱ニ拘ハラズ、何等ノ名稱ニ拘ハラズ云々ト斯ウアル、是ハ餘リ酷ナヤウデアル是ハ日本銀行ノ彼ノ制限ト比較ヲ致シテ、即チ本員ガ提出ノ如クニ致シタ方ガ宜カラウト云フ考案デアリマス、日本銀行ノコトハ御承知デゴザイマスガ、アレハ他ノ銀行ノ頭取若クハ會社ニ従事スルコトヲ得ズト云フコトガアル、丁度其通りデアリマス、マダアリマスカ

○(河野岩吉君) マダアリマス、先刻申述ベテ置キマシタ總裁、副總裁ヲ選任ヲスルト云フ、本体ハドウデアアルカ、第七條ニ於テ、主務大臣ハ總裁及副總裁ヲ任免スルコトヲ得ルト云フ、斯ウ云フコトガアル、其本体ヲ承リタイ

○(河島醇君) ソレハ第五條ハ、即チ斯ノ如キ役人ヲ置クモノデアルトシテアル、ソレカラ第七條ハ其役人ハドウ云フ方法ニ依テ得ラレルカト云フ、ドウ云フ資格ヲ銀行ニ持ツモノデアアルカ、ドレ丈ノ株ヲ有スルモノデアアルカ、ドウ云フ選舉法ニ依ルカ、ドウ云フ任免ヲスルモノデアアルカ、即チ其役人ニナラシメ、處ノ資格、其選舉方法及任免ノ手續ヲ定メタモノデ、アナタノ御説ノ如キハ、即チ積極的デ云ヘバ、セズトモ宜イト云フコトデアアル、畢竟消極的ノ言葉デアルト云フ議論ノヤウデアアル、ソレハ消極的ノモノデ惡ルケレバ、ソレヲ任免スベシトシテモ宜シイ、併シ立案ノ趣意ハ今申上ゲタ通りデアリマス

○(河野岩吉君) ソレデ大體分リマシタガ、九條ノ二項ニ於キマシテ、唯普通ノ取締役、專務取締役ヲ此九條ノ二項カラ省カレタ所以ヲ御尋ヲシタイ、尙ソレニ就イテ疑ヒノ廉ヲ申シマスレバ、監査役ト云フモノハ常ニ業務ヲ監視シテ居ルモノデアアル、ソレガ、業務ニ預カラヌモノガ商業ニ従事スルコトヲ許サズト云フ位ノコトガアルニモ拘ラズ、此連帶責任ヲ持ツ所ノ普通ノ取締役ハ此中カラ除イテアルト云フト、此監査役ト權衡ガ取レナイト云フノガ、第一ノ疑ヒデアアル

○(河島醇君) 前ニ申シマシタ如ク、監査役ニハ許シテモ宜イ、是ハ商法ニ規定ガアルカラ之ニ入レテアリマス、ケレドモ、之ヲ省イテモ宜イ、所ガ、專務取締役ト云フモノガ、他ノ取締役ヲ取除ケニシタノハドウ云フ理由カト云フトソレハ法律ニ向ツテハ連帶責任デアアルケレドモ、實際銀行ノ常務ニ預カラヌ即チ會議ニ與カル一ノ商議官デアアルソレガタメニソレハサウ云フ束縛

ヲ置カズトモ宜イト思フ、例ヘテ申シマスレバ、今株主ガ五十株以上ヲ有スル株主ガアツテ、例ヘバ茲ニ御出席ニナツテ居ル原君ノコトキハ、斯ノ如キコトニハ是マデ……經驗モアル人ダカラ宜イ、其人ヲ評議員トシテハ必要デアツテモ、專務取締役トシテハ甚ダ迷惑デアラウト思フ、サウ云フ人ガ餘程アル、一方ニハ專務取締役トシテ銀行ノ常務ニ従事スル人、一方ニハ外ニ職務ヲ持ツテ居ツテモ、丁度株主デ此業務ニ熟練ナ人ヲ擧ゲテ業務ニ従事セシムルト云フコトハ、餘程便利ト思ヒマシタカラ、斯ウ云フ風……

○(河野岩吉君) ソレデゴザイマスガ、唯其疑ノ點ハ、此普通取締役ト監査役トノ上ニ於テ、甚ダ普通取締役ト專務取締役ト連帶責任ヲ負フテ居ルモノデアアル、ソレデ監査役ハ業務ヲ監査スルモノデアアル、其業務ヲ監査スルモノデアアル、ソレデ監査役ハ業務ヲ執ルモノト共ニ連帶責任ヲ負フテ居ル所ノモノヲ此中ニ除クト云フ理由ガ分リ兼ネマスル、ソレデ監査役ヲ茲ニ削ルト云フナラバ疑ハナイノデスカ……

○(河島醇君) ソレハ議論デアアル、本員モ監査役ハ茲ニ置ク必要ハナイモノト思フ、併シ御質問ニ依ツテ答ヘタノデ、其先キハアナタノ御意見デアリマス

○(門脇重雄君) 今此第五條ニ就イテ、河島君及立石君ヨリ修正文ガ出テ居リマシテ、兩方参照シテ見マス、立石君ノ修正ハ最モ當ヲ得タル修正ト考ヘマス、如何トナレバ、河島君ノ修正ノ此取締役十名ヲ置クト云フ、此取締役デアリマス、此取締役十名ハ至ツテマギラハシイ、何ゼナレバ取締役十名中ニハ、行政ノ働キヲ爲スモノト、立法ノ働キヲ爲スモノト二ツニ分レルト云フコトデアアル、然ラバ此取締役ト云フ役名ハマギラハシク見エル、立石君ノ修正文ハ單純ニ評議員トアルカラシテ、即チ立法ノ働キヲ爲スト云フコトガ名ノ上ニ於テ明カデアアル、故ニ立石君ノ修正文ガ最モ相當ト考ヘマスカラ、私ハ立石君ノ修正ニ贊成ヲ致シマス

○(工藤行幹君) 私ハ此二ツノ說ニ就イテハ、河島君ノ說ニ贊成ヲ致シマス、其理由ヲ簡單ニ申シマス、唯今云ハレル名ガ違ヒ居ルカラ明カデアアル、評議ヲスルモノト事務ヲ執ルモノト別ニナツテ居ルト云フケレドモ、元來商法ト云フモノ、ナイ中ハサウデゴザイマスガ、商法ノアル以上ハ成ダケ商法ノ範圍内デスルノハ相當ナコトデアアル、已ムヲ得ナイコトガアツタナラバ、ソレハ商法外ニ名モ立テナケレバナラヌシ、權限モ立テナケレバナラヌケレドモ、凡テ日本ノ商法ト云フモノガ行ハレタ以上ハ、成ルベク此商法ノ範圍内デヤルノガ相當デアアル、而シテアノ名ハマギラハシイト云フケレドモ、何モ別ニ理員ト云フヤウナモノ、選舉ノ仕方ガ違フト云フ譯デモナイ、株主中ノ矢張若干ノ株主カラ選ンデ見レバ、ドチラカラヤツテモ、其職制サヘ定ツテ居レバ取締上ニ於テ少シモ差支ハナイ、故ニ大體商法ノ範圍内ニ於テヤリ、其商法ノ範圍内デヤリ得ラレナイ處ハ、別ニ茲ニ規定ヲ設クルノハ最モ穩當ト思ヒマスカラ、私ハ河島君ノ說ニ贊成ヲ致シマス、併シ河島君ノ說ノ五條以下ニ於テ、

此文字ヲ斯ウ替ヘルトカ、ア、替ヘルトカ云フコトハ第六條以下ニ至テ論ジ
マスルガ、先ヅ第五條ハ河島君ノ修正シタ所ニ贊成ヲ致シマス

○(豊田文三郎君) 此五條ヲ、河島君ノ御修正デ見マスト餘程多ウゴザイマ
ス、殊ニ本案トハ違ヒマシテ、一箇條條文ガ多クナツテ居リマス、即チ此
提出案ノ全部修正トナリマスカラ、此第二章丈ヲ御殘シニナツテハドウデア
リマスカ、同ジ五條ノ文句ノ中ニモ、立石君カラ出タ條項モ含ンデ……

○委員長(石田貫之助君) 素ヨリ關聯シテ居リマスガ、各條一時ニ議題ニ附
スルコトハ到底採決ノ上ニ於テ出來ヌコトデアリマスカラ、論究ナリ、説明
ハ宜シウゴザイマスガ、矢張各條毎ニ議題トシテ、採決スルコトニ致シマセ
ウ

○(豊田文三郎君) 私ノ望ムノハ、河島君ノ修正ヲ採ルヤ否ヤト云フコトヲ
先キニ御採リニナツタラ宜シウゴザイマセウ

○委員長(石田貫之助君) サウ云フコトハ出來マセヌ、五條ヲ採レバ從ツテ
サウ云フコトニナリナス

○(河島醒君) 私ハ一寸質問致シマス、此評議員ノコトハ是ハ御修正ニ依ル
ト、丁度第五條ノ「各一人」ノ下ニ「評議員五人」ト云フ字ヲ加フルト云フ丈ニ
止ツテ、ツレカラ第六條ノ二項ノ下ニ左ノ一項ヲ加ヘルトアリマスガ、是ハ
選舉方法採ハ是ニアル理事ト同様ニシヤウト云フノデアリマスガ

○(立石岐君) 左様デス

○(名倉次君) 議事ノ進行ハ望ム所デアリマスガ、併ナガラ河島君ノ修正ハ
餘程大修正デアリマシテ、其修正意見モ唯今拜見シタコトナリ、尙熟考モ致
シタイト思ヒマスケレドモ、時間ガアレバデスガ、最早十二時モ過ギテ居リ
マスカラ、本日ハ否決ヲセズニ此儘置イテ戴キタイ、熟考ノ後ニ決シテ貫ヒ
タイ、第五條ハ各條項ニ關聯シテ居リマスカラ

○委員長(石田貫之助君) 延シテモ宜シウゴザリマス、ツレデハ本日ハ此邊
デ會ヲ閉ヅルコトニ致シマセウ、午後ハ本會ガ大切ナ會デアリマスカラ、此
會ハ開キマセヌ、明日午前十時カラ引續キ會ヲ開キマスコトニ致シマス

午後零時十二分散會

明治二十九年三月六日印刷

明治二十九年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局